

V
6

5-6
6

山崎	15
----	----

昭和二十一年十二月

若溪會内

師範教育改善調査委員会

教育大學設置ニ関スル意見

- 一 緒言
- 二 教育大學設置の必要トソノ理由
- 三 教育大學案要綱

一 緒言

近々教育ノ劃期的刷新ガ断行セラレヨウトシテイルコトハ、ワレワ
 ノ中テモ直接教育ノ任ニ當ル教員ノ養成機關ヲドノヨウニ刷新スル
 カトイフ問題ハ極メテ重大ナモノデアル。ヨツテ若溪會ハ本問題ヲ調
 査シメルタメサキニ「師範教育改善調査委員会」ヲ設置シタ。ソノ
 後本調査委員会ハ慎重ニ研究調査ヲ遂ゲテ一ツノ案ヲ得タノデ、ココ
 ニコレヲ「教育大學設置ニ関スル意見」トシテ発表スルコトトシタ。
 大方ノ批判ヲ仰グコトヲ得レハ幸デアル。

昭和二十一年十二月



若溪會内
 師範教育改善調査委員会

二 教育大學設置ノ必要トシノ理由

(1) 文化國家ノ建設トイフ方面カヲ見テ教育大學ヲ必要トスル理由

新ラシイ文化國家ノ建設ノタメニハ新ラシイ教育ノ理念ト方法トガ研究サレカツ實施サレナケレバナラナイ。モトヨリ新ラシイ文化國家ノ建設ハ全國民ノ責任デアリ、ソノ總意ヲ傾ケテ努力セネバナラヌ問題デアルガ、シカシ新ラシイ文化國家ノ理想ニフサワシイ教育理念ト方法トヲ身ニツケ、教育ニヨツテ文化國家ヲ大成シヨウトスル教育者ノ實力ノアル優秀ナ教員ヲ養成スルコトガ必要デアアル。イカエレバ近代のナ科學的精神ヲ身ニツケ、眞理ノ探索ト文化ノ創造トヲ目指ス眞ニ文化國家ニフサワシイ教員ヲ養成スルコトガ必要デアアル。コレガ教育大學ノ設置ヲ要望スル工エンデアツテ世上一部ノ議論ノヨウニ教育養成機關ヲ放棄シ、諸方ノ落武者ヲ集メテ一年ノ講習所ノヨウナモノトスルナラ教育ノ衰微ハ必定デアアル。

(2) 文化國家ノ構想ハ雄大デ深遠デアリ、ソレエノ道ハ至難デアルコレヲ教育ニヨツテ成就シヨウトスレバ文化國家ノ先達トシテノ教育ヲ

世界ノ進運ニ照ラシテ絶エズ研究シ、高ク廣ク太キナ立場カラ國家ノ教育ヲ指導シテエケ機關ガ必要デアアル。ト同時ニマタ他方民主的ニ地方ニ感リ上ル教育ニ示唆ト助力トヲ興工、コレガ發達ヲ促ス權威アル指導機關ガ必要デアアル。教育大學ハ教員養成機關デアルトモニ、コノヨウナ研究機關タル使命ヲモツベキデアツテ、教育研究所、實驗學校等ヲ初メ、一切ノ附屬機關ヲ完備シ、學理ト實際トノ研究ニツトメ、教育実態ノ調査、資料ノ蒐集、統計ノ作成等ニ當リ

文化國家ニフサワシイ教育ノ研究機關トスルガヨイ

二 教育者養成ノ根本義ニ鑑ミテ教育大學ヲ必要トスル理由

教育者タルタメニハ、オノズカラ教育者タルタメノ修業ガ必要デアレ

イマコレヲ (1) 人間の教養 (2) 教職的教養 (3) 専門的教養ノ三ツニ分

ケテ、ソノ要點ヲ述ベテ見ヨウ。

(1) 人間の教養

教育者モ教育者タル前ニ人間デアリ、人間トシテ廣ク人間ト社會トニツイテノ教養ト理解トヲモタナケレバナラナイ。ソレガタメニハ一方生物學、心理學、經濟學、社會學、政治學、文化哲學ナドニヨツテ廣イ知的教養ヲ積ムトモニ他方道德ヤ藝術ヤ宗教ニヨル情操ヲ陶冶シ、知情意ノ圓滿ナ教養ト豊カナ人間味トヲモツコトガ大切デアアル。

(2) 教職的教養

第一ハ教育者の精神デアアル。被教育者ヲシテ眞理ノ探求者、價値ノ創造者タラシムルコト、ソレニ對スル理想ト情熱トヲモツコト、ソレガ教育者ノ精神デアアル。第二ハ教育技術デアアル。教育ハ一ツノ技術デアリ、單ナル思想ヤ知識ヲモツテハ遂行デキナ

イ、教育研究所、實驗學校ヲ設ケ、廣ク教育技術ノ習得ニツトメ、ナ

ク、教授者ヲハナク、第三ハ見識ノ陶冶デアアル。教育者ハ一學科一技術

ノ教授者トハナク、國民生活ヲ指導シ文化ノ發達ヲ導キ、文化ト社

會トノ進歩向上ノタメニ大キイ役割ト責任トヲモツテ、ソレ工

エ教育者ハ文化ト社會ト指導者改良家タルノホコリト責任トヲモ

ナケレバナラナイ、ソシテコノヨウナ職能的専門的教養ノタメニハ

倫理學、哲學、教育學等ヲ始メ、教育行政、比較教育、社會教育等

ノ研究ヲ必要トスル。第四ハ身体ノ鍛錬ト健康ノ問題デアアル。児童生徒ハ生理的の身体的ニ発達途上ニアルモノデアリ、ソレニツイテノ知識ト保健衛生上ノ實際ノ取扱ヒ、ナイシハ運動競技ニ趣味ト技能トヲモツコトハ教育者ニトツテハ不可缺ノ要求デアアル。

(3)

専門的の教養 教育ノ任務ハ單ナル知識技能ノ媒介傳達デハナク、被教育者ヲシテ自ら進んで真理ヲ求メ、價値ヲ追求シテ止マズ精神、態度ヲ養フニアル。ソレニハ教師自ら真理愛好ノ精神ニ燃エ、少クトモ專攻ノ學科ニ對シテハ深い研究ト學殖トヲモテ、ソレニ對スル教授上ノ確信ト指導力トヲモツテ、ナケレバナラナイ。

三

(1)

教育者養成機關トイフ方面カラ見て教育大學ヲ必要トスル理由、重要ナコトデアアル。教育者ノ養成ヲ目的トスル組織ト方法トヲ完備シタ所ニオイテ修業ヲ積マセルカドウカハ教育者トシテノ体験ニ大イテ非常ニ相違ガアル。人ハ環境ノ動物デアアルトイハレルヨウニ教育的のフン圍氣ノ中ニオイテ絶エズ教育的の專業ニ注意シツツ切瑣瑣スルコトハ教育者ノ人格ヲリ、識見ナリ、實力ナリヲ陶冶スル上ニセヒトモ必要トモノト考ヘラレル。コノコトハ内容が多面的デアツテ個性ニ立脚シタ技能的(体育藝術等)方面ノ教育者養成ニハ特ニ必要デアアル。ソシテソレハ相當期間ヲカケテ修業サセナケレバ不可能カラデアアル。

(2)

眞ノ教育者ノ養成ニハソノ目的ガ明瞭デアルトトモニ組織ノ完備シテルコトガ必要デアリ。立派ナ教授、教科組織、教育實習、教育相談所等ニオイテ始メテ正シク生徒ヲ科學サセルコトガデキ。教師トシテノ思索、体験等ヲ積ミ、教育ニ對スル信念興味オヨビ技能等ヲ習得サセルコトガデキル。目的不明瞭デアリ組織モ設備モ不完全ナトコロデ眞ノ教育者ノ養成ニハズルハナイ。

(3)

教育者ハ他ノ職業人ト相並ブ特殊ナ専門的の職業人トハイイ得ナイガシカシ學校教育トイフ一定ノ職業ニ從事スル以上少クトモ教育ソノモノヲヨク理解シ、教育ノ實ヲ擧ゲ得ルタメニハ職業的の専門的の修業ガ必要デアアル。不ナリテ相當年數ヲカケテ教育スルコトガ必要デアツテ數ヶ月ヤ一ケ年程度ノ講習デ眞ノ教育者トシテノ資格ヲモタセルコトハ不可能デアアル。

四

絶エズ一定數ノ教育者ヲ供給シ得ルタメニ教育大學ヲ必要トスル理由、眞ニ教育界ヲ安定サセ、ソノ發展ト興隆ニ資スルタメニハ常ニ一定數ノ教育者ヲ養成スル必要ガアル。經濟界ノ動搖ハ世ノ常デアツテソレニ伴フ教育ノ過不足モ避ケ得ナイ現状デアアル。コノヨウナ際コレヲ調節シ教育ニ支障ナカラシメルタメニハ常ニ必要ナ一定數ノ教育者ヲ養成シ、經濟界ノ變動ニ左右サレナイデ、教育者ヲ供給シ得ルヨウニセバナラナイ。現在ノ教育養成機關カラ供給サレ、教育者ハ全体ノ三割ヲ非、常ニ不足シテ、六三三制ヲ實施シタ曉ニハ教育者ハ毎年ソノ四倍ヲ必要トシ、教育養成機關ノ大擴張ヲ圖ラネバ十分ニ供給スルコトハ不可能デアアル。コレガ教育大學ヲ必要トスル理由デアアル。

程度

五

ソノ理由

- (1) 世間ノ一部ニハ師範臭トカ偏狭ナ學問根性トカチアゲ、ソレユエニ師範教育ヲ廢止スベシト主張スルモノガアルガ、ソレハ師範教育ニハ全ク非本質的ナモノデアリ、師範教育以外ノ分野カラ唱導サレテ、誤解ナイシ非難デアツテ、ヨシクハアリトシテモソレハ改善スベキモノデアツテ、ソレユエニ師範教育ヲ廢止スベシトスル理由ハ成立シナイ。
- (2) 從來ノ師範教育ノ悪イノハ師範教育自体ヨリモ國家ノ處遇方針ノモトノ悪カツタコトニモトツクコトガ多イ。師範教育ガ袋小路テ上ニ伸ビ得ナイコト、教育者ガ倫理道德ニ規制セラレルコトガ強クシカモ經濟生活ガコレニ伴ハズ、道德ト經濟トノ板挟ミニナツタコト、教育者ニ政治的社会的活動ヲ禁ジテ、タコトナド、教育者ノ缺點ト短所ハ師範教育ソノモノヨリモ國家ノ教員ニ對スル處遇ニモトツクコトガ大デアツタノデアル。從ツテイママデノ教育者ニ缺點所ガアツタカラトイッテ教育大學ノ設置ヲ否定スルコトハデキナイ。

三 教育大學案要綱

教育目的

- (1) 國民學校初級中學校ツギノヨウナ目的ヲモツ機關トスルコト
 - (2) 教育ニ關スル最高ノ研究機關オヨビ實習機關デアルコト
 - (3) 教育ノ内容タル學術技術ヲ教授スル機關デアルコト
 - (4) 教育者ニ必須ナ教育技術ヲ修得サセル機關デアルコト
 - (5) 一般學術ノ理論オヨビ應用ヲ教授シソノ淵奧ヲ攻究スル機關デアルコト
- 修業年限
修業年限ハ四ケ年ヲ原則トシ上級中學校ノ卒業生、マタハコレト同等以上ノ學力ノアルモノヲ入學サセルコト
- 學科内容
學科ハコレヲ左ノ各科ニ分ケソノ一科ナイシ教科ヲオキ得ルコトナレ
- 文科 理科 體育科 藝能科 實業科 家政科 等
- 大學院
教育大學ニハ大學院ヲオキソノ年限ハ二ケ年以上トスルコト
- 附屬機關
教育大學ニハ實驗學校、教育研究所、學術研究所、圖書館、教育博物館、ナドヲ附設スルコト
- 設置
教育大學ハ各種教員ノ需給關係ヲ勘案シテ各都道府縣ニ一校アルイハ、學校マタハ地方行政地區ゴトニ設置スルコト

以上

農園 實習工場